

仕 様 書

第1 基本事項

1 品名

消防団員用防火服（上下）及び防火帽（しころ付き）の購入

2 数量

- (1) 防火服（上衣：ベルト付き）60着
- (2) 防火服（下衣）60着
- (3) 防火帽（しころ付き）60個

3 参考製品

業者名	製品名	規格等
赤城工業（株）	消防団員用防火服 カムイプロファイター	・ ISO11613（2017）に準拠したもの。 ・ [別表1～4]に定める防火服の規格に準ずるものとする。
（株）イマジョー	消防団員用防火帽 IMF-2	労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）第42条の規定に基づく保護帽の規格（平成3年労働省告示第39号）に適合するものとし、H-2497，H-2498の合格番号を取得していること。
サンコー（株）	胴ベルト タイタン カルラック	軽量タイプであること。

※上記参考製品以外の製品を選定する場合は、入札前の質問締切日までに上表規格等欄に適合するものであることが判断できる資料（カタログ、公的機関の試験書等）とサンプル品を契約課に提出のうえ、事前に市の承認を得ること。

4 納入期限

令和8年3月28日（金）

5 納入場所

別紙【納品場所】のとおり

6 書類等の提出

- (1) 原反出荷引受証明書及び品質証明書
受注者は[別表1～3]に示す防火服外衣生地（表生地・配色地）、防火服內衣生地（透湿防水生地）の原反出荷引受証明書及び品質証明書を提出すること。
- (2) 見本品の作製
契約後、当市担当者と打合せのうえ、この仕様書に基づく見本を作製し提出すること。見本品は確認後返却するものとする。

7 その他

- (1) 契約者は、契約後速やかに担当者と打合せをすること。
- (2) 納入に際しては、1着ずつビニール袋で包んだ後、外部より容易にサイズが判別できるように明記し、分団毎に分けて納入すること。
- (3) 納入に関する全ての経費については、受注者の負担とすること。
- (4) 納入の目途が立った時点で速やかに担当者に連絡し、指示を受けること。
- (5) その他不明な点は、市担当者に確認すること。

8 サイズ

防火服（上下）の購入するサイズについては、別紙発注一覧表のとおりとする。

第2 購入物品の仕様

1 目的

この仕様書は、当市において購入する消防団員用防火服及び防火帽の製作について必要な事項を定めることを目的とする。

2 条件

消防活動上の安全性を確保する為に必要な防護性能と強度を有すると共に、全般にわたって検査が施され、十分に品質管理を行った材料を用いた仕上がりが丁寧な製品であること。

3 構成

- (1) 防火服は、外衣と內衣（透湿防水兼断熱層）で構成される多層構造とする。
- (2) 防火服を構成する積層は、原則として ISO11613（2017）に準拠し、本仕様書内の要求性能を満たすこととする。

4 縫製等

- (1) 縫製は、消防活動に耐える十分な強度を有し、縫い目の飛び、はずれがない優良なものであること。
- (2) 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりが目立たないこと。

第3 防火服

1 防火服（上衣）

(1) 材料等

ア 外衣生地

外衣身頃は耐熱性、通気性、放熱性、柔軟性に優れた生地を使用し、接炎や溶融金属等の高温物質の飛散・滴下に対して貫通や熱収縮を最小限にとどめ、被災時の安全性を確保すると同時に、優れた着用性と高い放熱効果によって活動性の向上と熱中症リスクの低減をはかるものとする。

(イ) 主生地は合成繊維（カーボン系）を使用したプレーンの織物とし高い安全性と優れた着用性を両立するものとする。規格等は別表の「外衣表」生地[別表1]とする。

(イ) 脇身頃、脇マチ、下袖、背中、肩、内衿、脇ポケット蓋には配色生地を使用する。規格等は別表の「外衣表」（配色地）生地[別表2]とする。

イ 內衣生地

內衣は透湿防水兼断熱層とし、合成繊維（カーボン系）を使用した熱拡散効果の

高い基布に透湿防水P T F E メンブレンをラミネートしたものを使用する。高い透湿防水性を有することで高い快適性を確保し、熱中症リスクの低減をはかるものとする。規格等は別表の內衣生地[別表 3]とする。

ウ 補助材料等

規格等については[別表 4]のとおりとする。

(2) 外観及び寸法等

外観は【別図 1】、寸法は[別表 5]のとおりとする。

(3) 構造

ア 概要

(ア) 防火服の外衣と內衣は脱着ができない構造とすること。

(イ) 防火服の積層は高耐熱性・高放熱性・低蓄熱性・高透湿性生地を使用し防火服内の温度上昇を抑え、被災時の火傷リスクや熱中症リスクの低減が可能な構造とする。

(ウ) 袖口等の開口部からの水の浸入を防止できる構造とすること。

(エ) 使用する生地は、消防活動に適した機能、強度、柔軟性を有し活動性と安全性を確保する為に肩、腕は勿論、上半身全体の運動に対して抵抗が少なく、着用者の疲労が低減できる構造とする。

イ 外衣

(ア) 外衣は左右前身頃と後身頃を左右肩当てと脇身頃で連結させる構造とする。

(イ) 左右袖は上袖、下袖、脇マチにより構成する。身頃から脇マチ、下袖、上袖へと立体的に構成することにより、あらゆる運動に対し抵抗を生じずスムーズな動きが可能な袖付けとする。また脇身頃、脇マチ、下袖、背中、肩、内衿、脇ポケット蓋は配色地（黒色）[別表 2] を使用し、[別図 1]のとおりとする。

(ウ) 袖口は內衣袖口持ち出しと外衣袖口を合わせ特殊コーティング生地で補強を施す。

(エ) 前合わせは難燃耐熱性樹脂ファスナーと面ファスナーを併用した開閉式とし水除け付きとする。

(オ) 反射テープは【別図 1】のとおりダブルステッチにて取り付ける。詳細の位置は市担当者と協議すること。

(カ) 衿は屈曲しづらい構造で、前合わせはチンストラップで固定できる構造とする。

(キ) 衿付け中央部に衿吊りを取り付ける。

(ク) 携帯無線機マイク用ループは胸部左右に取り付ける。

(ケ) 前身頃左右各 1 ヲ所（1 ヲ所にボタン 2 個付け）と後身頃に安全ベルト通しを 1 ヲ所取り付け。

(コ) 見返し縁はパイピング仕立てとする。

(サ) 左右腰部には雨蓋付きの三方マチ付き箱ポケット設ける。下部マチにはハトメ穴を 2 ヲ所設ける。

(シ) 左右胸に 2 分割雨蓋付きの三方マチ付きパッチポケットを設ける。下部マチにはハトメ穴を 1 ヲ所設ける。ポケット内部には無線機ホルダーを設ける。

(ス) 背プリントは【別図 1－2】の文字を背中上部にプリントする。なお、文字に使用する白色は反射塗料を使用すること。なお、文字フォント・デザイン・配置・配色等については市担当者と協議すること。

(セ) 着用左上腕部に別途市が用意する腕章が取り付けられるループを取り付ける。

ウ 內衣

(ア) 身頃は左右前身頃、左右脇身頃、後身頃から構成するものとする。

(イ) 袖は上袖、下袖、脇マチ、袖口、持ち出しから構成するものとする。

(ウ) 各パーツ縫い目はシームテープで防水処置を施す。

- (エ) 袖口先には指定のフライスを取り付ける。
- (オ) 袖口、持ち出しは透湿防水生地とし、外衣とは持ち出しで縫い合わせる。

エ 胴ベルト

- (ア) ベルトは黒色のナイロン製のもので幅約 5 cm、長さは防火服（上衣）のサイズに合わせたものとする。
- (イ) バックルはアルミ合金製とする。
- (ウ) ベルトの止め方はスライド式とする。

2 防火服（下衣）

(1) 材料等

外衣は、防火服（上衣）と同様の材料を使用すること。ただし、防火服外衣生地は、黒とする。

(2) 構造

ア 消防活動時の作業性、機能性を向上させることや運動に対する抵抗を少なくするために、左右腰部及び、左右上脚部からなる本体部に下脚部を連結した仕立てとし、臀部には脚曲げ余裕分をとり、連結部の前部には膝曲げ余裕部を確保できる構造とし、股、脚部等の運動に対して抵抗が少なく、ズボンのずり下がりを防ぐこと。

イ 腰部、上脚部は左右前身頃、後身頃各 1 枚、下脚部は左右前見頃及び、後身頃各 1 枚の仕立てとする。

ウ 胴回りは、寸法調整バンド及びマジックテープによって容易に締緩みできること。

エ 前合せは面ファスナー及びファスナー止めとする。

オ 左右裾口はファスナー開閉式とする。

カ 左右裾口に反射テープを縫着する。

(3) サイズ

サイズは【別表 6】のとおりとする。

(4) 形状

形状については【別図 2】のとおりとする。

3 防火帽及びしころ

(1) 防火帽

労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号）第 42 条の規定に基づく保護帽の規格（平成 3 年労働省告示第 39 号）に適合するものとし、H-2497、H-2498 の合格番号を取得していること。

ア 材料

防火帽の材料は【別表 7】のとおりとする。

イ 形状等

形状等は、【別図 3】のとおり。

ウ 縫製

(ア) あごひもの先端には、ほつれ止めを施し、締め金具を取付け

(イ) 縫製は、しころとしての強度を確保できるものとする。

(ウ) 糸調子等は、良好であるものとする。

エ 構造

(ア) 帽体

a 帽体表面の塗装は、シルバーメタリック焼付け塗装とし、容易に剥離変色しないこと。ただし、団長・副団長分はパールホワイトの塗装とする。

b 消防団章は、黒色台皮に金属製団徽章を取付けたものとし、帽体正面部中央に取付ける。

- c 帽体の後部つばに、掛け金具をリベットで取付ける。
- d あごひも（あご締め用）は、片方を押しホックで着脱できる方法とし、あごひも締め金具により、帽体を頭部に固定できるものとする。
- e あごひも締め金具に、あごひもと共布の2枚重ねで「ち（舌）」を取付け、緩めやすくする。
- f 赤色階級線を[別表8]のとおり入れる。
- g 後面に蛍光の緑のシートで本団及び各分団名を記載したシールを貼ること。
- h 水滴が溜まらない様に前面から後面にかけて水溝及び傾斜をつけること。
- i 後部にサイズ調整用のダイヤルを設けること。

オ 顔面保護板

- (ア) 保護面は帽体から円滑に130mm以上引き出せ、引き出した状態でぐらつきを防止する措置を施し、保護面収納時の突出部分は中央部で10mm以内とする。
- (イ) 保護面の下端は、呼吸用面体装着時に防火帽の持ち上がりを防止し、また、視線を妨げることをないよう円弧状とし、塩化ビニールで保護する。
- (ウ) 保護面を引き出し、その上からしころを合せた状態で、縦方向の最大部分90mm以上、横方向の最大部分200mm以上の視野が確保でき、保護面としころの間にすき間がなく、頭部を動かしてもしころが保護面からはずれないものとする。

カ しころ取付け板

しころ取付け板は、帽体内側後方から側方にかけて取付け、これにホック（凸型）6個を取付ける。

(2) しころ

ア 材料

主材料は、防火服と同様のものとする。

イ 形状

形状等は、【別図4】のとおり。

ウ 構造

- (ア) 表生地・裏生地各々1枚裁ちとし重ね合わせ、身返しは衿部共布とする。
- (イ) 前面は、面ファスナーでとめる。
- (ウ) 帽体取り付け用および、前面折り返し止め用押しホックを用いる。
- (エ) しころの周囲は、共布で縁取りをする。
- (オ) 防火帽のしころ取り付け板に合せて取り付けられるようにすること。

4 環境配慮

市は、地球温暖化対策実行計画を策定するとともに、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す、ゼロカーボンシティ宣言を行っており、温室効果ガス排出削減や環境負荷低減に向け、環境マネジメントシステムを導入している。このため、受注者は業務を行うに当たっては、環境法令を遵守するとともに、本制度の趣旨を踏まえ、以下の事項を遵守すること。

- (1) 物品供給契約の履行に際しては、電気・ガス・水道の使用抑制等、省エネルギーに努めること。また、再生可能エネルギーの利用に努めること。
- (2) 物品供給契約の履行に際しては、ごみの排出削減やリサイクルの推進、紙の使用量削減、食品ロス削減に努めること。
- (3) 業務において、「CHOFUプラスチック・スマートアクション」として、プラスチックの使用抑制、会議やイベント等での使い捨てプラスチック製品の使用削減に努めること。
- (4) 物品供給契約の履行に際して、使用・購入する物品等は、グリーン購入等、環境負

荷ができるだけ少ないものを選ぶよう努めること。

- (5) 業務における移動や荷物の運搬等で自動車を使用する場合は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（以下、「環境確保条例」という。）」第34条に規定する低公害・低燃費車の使用及びアイドリング・ストップ等のエコドライブの実施により、エネルギー使用抑制に努めること。なお、ディーゼル車を使用する場合は、環境確保条例第37条のディーゼル車規制に適合する自動車であること。「自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法」（平成4年法律第70号）の対策地域内で登録可能な自動車であること。また、当該自動車の自動車検査証（車検証）、粒子状物質減少装置装着証明書等の提示又は写しの提出を求められた場合には、速やかに提示し、又は提出すること。

[別表 1]

防火服外衣生地（表生地） 規格一覧

名称	表生地	
項目	仕様規格等	試験方法等
構成	合成繊維（炭素系）とアラミド繊維を主原料とするプレーン構造の織物とする。なお、難燃剤による後加工処理は不可とする。	
混用率	合成繊維（炭素系） 20-40%（±5） アラミド繊維 60-80%（±5） その他 0-20% 導電性繊維使用	
色合	ゴールド	
組織	平織	
重量	160g/m ² （±20）	JIS L 1096
加工	撥水・撥油加工	
以下 試験項目		
燃焼性	残炎時間 0 秒 残じん時間 0 秒 炭化面積 ≤5 c m ²	JIS L 1091 A-1 法 45° ミクロバーナー法 (加熱時間 1 分間)
引張抵抗	たて≥1000N よこ≥1000N	JIS L 1096 A 法 ストリップ 法
引裂抵抗	たて≥50N よこ≥50N	JIS L 1096 A-1 法 シングルタン グ 法
撥水性	≥4 級	JIS L 1092 スプレー試験
制電性	≤7 μ c / m ²	JIS T 8118
収縮率	たて<3% よこ<3%	JIS L 0217 103 法
抗菌性	抗菌活性値>増殖値（洗濯 10 回）	JIS L 1902 菌液吸収法
ピリング	≥5 級	JIS L 1076 10h
染色堅牢度	耐光（変退色）≥3 級	JIS L 0842
	洗濯（変退色）≥4 級	JIS L 0844 A-2 号

[別表 2]

防火服外衣生地（配色地）規格

名称	配色地	
項目	仕様規格等	試験方法等
構成	合成繊維（炭素系）とアラミド繊維を主原料とするプレーン構造の織物とする。なお、難燃剤による後加工処理は不可とする。	
混用率	合成繊維（炭素系） 20-40% アラミド繊維 60-80% その他 0-20% 導電性繊維使用	
色相	ブラック	
組織	平織	
重量	160 g / m ² (±20)	
加工	撥水・撥油加工	
以下 試験項目		
燃焼性	残炎時間 0 秒 残じん時間 0 秒 炭化面積 ≤5 c m ²	JIS L 1091 A-1 法 45° ミクロバーナー法 (加熱時間 1 分間)
引張抵抗	たて ≥1000 N よこ ≥1000 N	JIS L 1096 A 法ストリップ 法
引裂抵抗	たて ≥50 N よこ ≥50 N	JIS L 1096 A-1 法シングルタン グ 法
撥水性	≥4 級	JIS L 1092 スプレー試験
帯電性	≤7 μ c / m ²	JIS T 8118
収縮率	たて ≤3% よこ ≤3%	JIS L 0217 103 法
ピリング	≥5 級	JIS L 1076 10 h
染色堅牢度	耐光（変退色） ≥3 級	JIS L 0842
	洗濯（変退色） ≥4 級	JIS L 0844 A-2 号

[別表 3]

防火服內衣生地（透湿防水生地）規格

名称	透湿防水生地	
項目	仕様規格等	試験方法等
構成	合成繊維（炭素系）の混紡織物とアラミドメッシュのキルト生地に透湿防水メンブレンをラミネート加工したもの。なお、難燃剤による後加工処理は不可とする。	
基布混用率	合成繊維（炭素系）30%以上の混紡織物とアラミドメッシュのキルト生地とし、混用率は特に問わない。	
色相	グレー	
防水性	PTFE メンブレンラミネート加工	
以下 試験項目		
燃焼性	残炎時間 ≤2 秒 残じん時間 0 秒	JIS L 1091 A-1 法 45° ミクロバーナー法

	炭化面積 $\leq 10 \text{ c m}^2$	(加熱時間 1 分間)
引張強度	たて $\geq 500\text{N}$ よこ $\geq 500\text{N}$	JIS L 1096 A 法スリッパ 法
引裂強度	たて $\geq 100\text{N}$ よこ $\geq 100\text{N}$	JIS L 1096 A-1 法シングルタンク 法
帯電性	$\leq 7 \mu \text{ c / m}^2$	JIS T 8118
収縮率	たて $< 5\%$ よこ $< 5\%$	JIS L 0217 103 法
抗菌性	抗菌活性値 $>$ 増殖値 (洗濯 10 回)	JIS L 1902 菌液吸収法
染色堅牢度	耐光 (変退色) ≥ 4 級	JIS L 0842
	洗濯 (変退色) ≥ 4 級	JIS L 0844 A-2 号
透湿度	$\geq 750 \text{ g / m}^2 \cdot \text{h}$	JIS L 1099 B2 法
耐水度	$\geq 294\text{kPa}$	JIS L 1092 B 法 (K-6404-7)

[別表 4]

補助材料 防火服

品名	規格	用途
面ファスナー	難燃面ファスナー	ポケット, 衿, 前立
ファスナー	難燃耐熱樹脂オープンファスナー	前立
フライス	アラミド又はカーボン系ニット	袖口
反射布	オレンジ/シルバー/オレンジ 約 75mm 幅	胸, 背中, 裾周囲, 袖 上腕
座付きハトメ	金属製	ポケットマチ
表示布	不滅インク印刷	
補強布	特殊コーティングアラミド生地	肩, 袖口, ポケット下部,
パイピング	難燃性織物	見返し
縫製糸	アラミド糸 30/3, 45/3	地縫い, ステッチ, ロック

[別表 5]

防火服 (上衣) サイズ表

単位: cm

	着丈	衿丈	胸囲
S	72	80	116
M	74	83	120
L	78	86	124
L L	83	89	130
3 L	88	92	138
4 L	88	92	148

許容差 $+2-1$

* 上記サイズ表に該当しないサイズは別寸とする。

【別図1】



【別図 1－2】



※図は表示見本とし，詳細は契約後に市担当者と打合せにより決めること。

[別表 6]

防火服（下衣）サイズ表

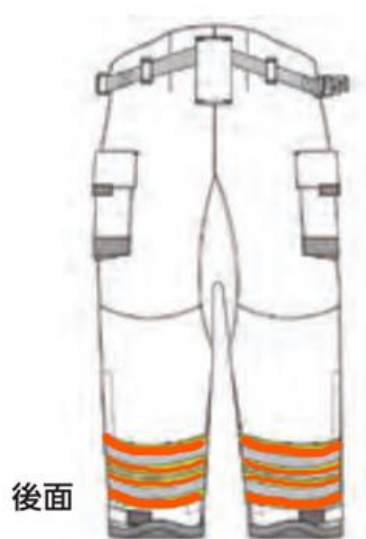
単位：cm

サイズ		ウエスト	股下
S	65	83	65
M	70	89	70
L	65	94	65
L	70	94	70
L	75	94	75
2 L	70	104	70
2 L	75	104	75
2 L	80	104	80
2 L	85	104	85
3 L	70	114	70
3 L	75	114	75
4 L	75	124	75

許容差+2-1

*上記サイズ表に該当しないサイズは別寸とする。

【別図 2】

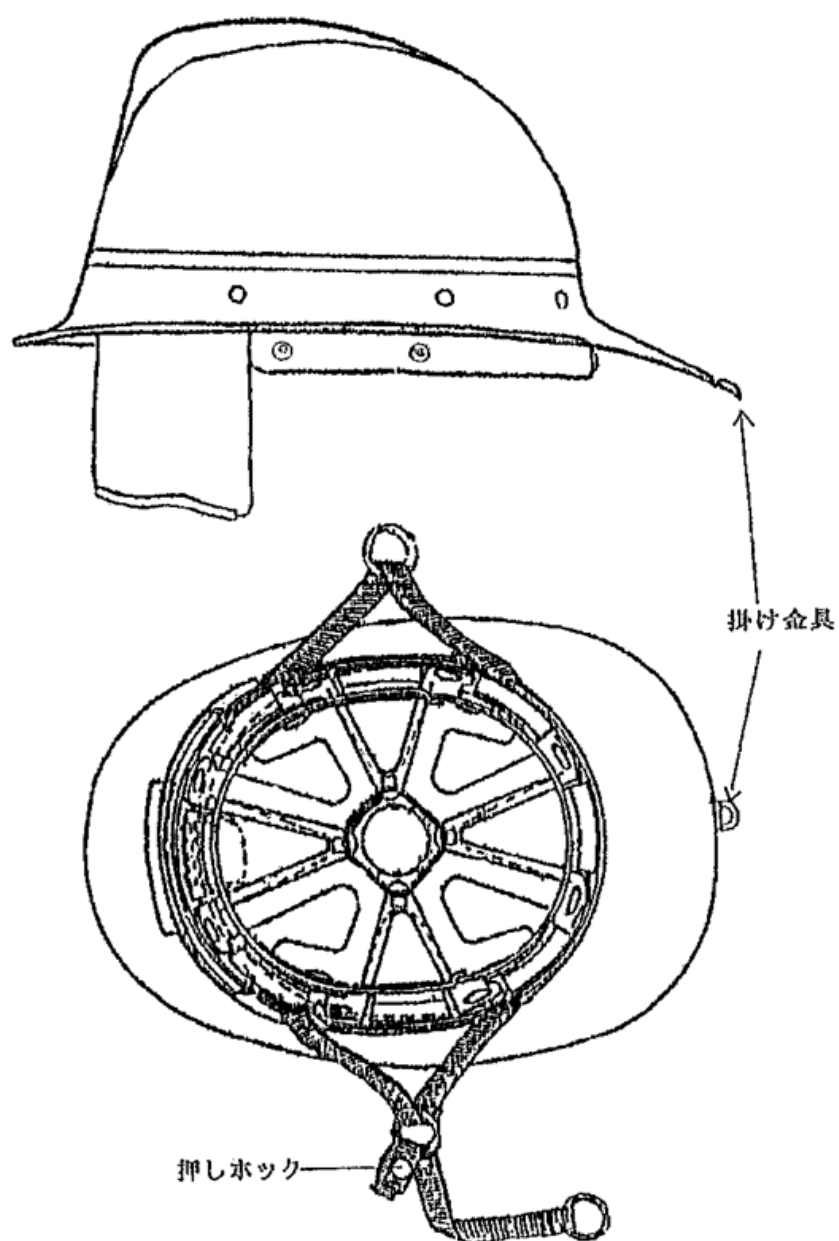


[別表 7]

区分	品 名	規 格	用途
帽 体	本 体	ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック製 (F R P)	帽 体
	消 防 団 章	黒色台皮に金属製団徽章を取り付けたもの	消防団章
	周 章	赤色反射テープ	周 章
	掛け金具	黄銅製ニッケルメッキ又は同等以上の防食性を有する金属製半月型	掛け金具
顔面 保護 板	保 護 板	ポリカーボネート板 (両面ハードコート) 色相：無色透明	保護板
着 装 体	ハンモック 補助ハンモック	ポリエチレン成形品	ハンモック 補助ハンモック
	環 ひ も	テトロンスリーブ	調整用
	汗止め枠	ポリエチレン成型品に吸水性及び耐久性に優れた素材を取り付けたもの	ヘッドバンド
	しころ取付板	ポリエチレン成形品	しころ取付板
	着装体取付具	アルミリベット	着装体及び あごひも取付用
	調整ひも	ポリエステルまたはナイロン製 色相：白色	補助ハンモック
衝 撃 吸 収 ライ ナー	衝撃吸収 ライナー	発泡スチロール又はこれと同等以上の衝撃吸収性能を有するもの	衝撃吸収用
あご ひも	あごひも	黒色ナイロン重織 色相：黒色，縁赤色入り 幅：18mm 以上	あごひも
	あごひも 調節ひも	黄銅製または同等以上の強度及び防食性を有する金属製	あごひも調節用
しこ ろ	面ファスナー	黒色 幅 3 0 mm, 黒色 幅 5 0 mm	しころ前合わせ
	縫 製 糸	芳香族ポリアミド 4 0 番 色相：紺色	縫製全般
その 他	押しホック	黄銅製ニッケルメッキ # 7 0 5 0	しころ取付け あごひも用

【別図3】

防火帽

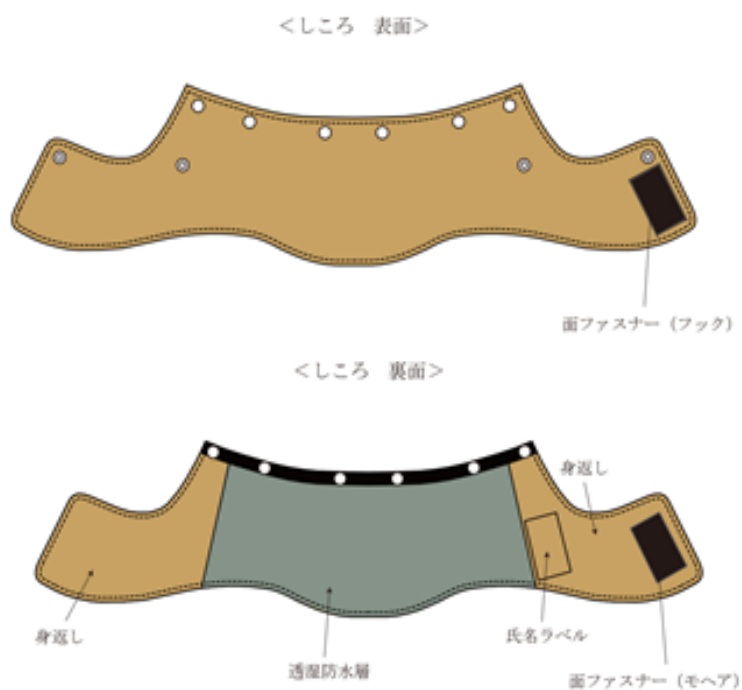


【別表 8】

単位 ミリメートル

階級別	周章	寸法
団長		8 (周線) 4 (隙間) 4 (周線) 4 (隙間) 8 (周線)
副団長		8 (周線) 4 (隙間) 8 (周線)
分団長 副分団長		4 (周線) 4 (隙間) 4 (周線)
部長 班長		8 (周線)
団員		4 (周線)

【別図 4】



納入場所：調布市消防団機械器具置場等

分団	所在地
第1分団	調布市飛田給一丁目38番地2
第2分団	調布市上石原一丁目28番地3
第3分団	調布市下石原一丁目55番地9
第4分団	調布市小島町一丁目13番地14
第5分団	調布市布田三丁目4番地7
第6分団	調布市国領町一丁目8番地16
第7分団	調布市国領町四丁目17番地13
第8分団	調布市多摩川五丁目37番地1
第9分団	調布市佐須町一丁目13番地7
第10分団	調布市柴崎一丁目6番地2
第11分団	調布市西つつじヶ丘二丁目3番地32
第12分団	調布市入間町二丁目30番地15
第13分団	調布市仙川町三丁目3番地38
第14分団	調布市深大寺東町五丁目9番地1
第15分団	調布市深大寺北町一丁目1番地21

各所在地とも消防団員は常駐していないため、納品に係る事柄は消防団事務局（総合防災安全課）042-481-7348までご連絡ください。

別紙発注一覧表

防火服（上衣）

[illegible]

防火服（下衣）

[illegible]

ベルト

[illegible]